

「校長室」通信

第5号

三股町立三股中学校だより

令和元年6月26日(水) 文責: 校長 永山博一

参観・懇談 学校保健委員会ありがとうございます

6月22日(土)は、参観授業・懇談。午後からは学校保健委員会、PTAスポーツ(ヨガ教室)に、多数の保護者の参加をいただきありがとうございました。

【学校保健委員会】(健康診断結果)

●虫歯の治療率アップをめざす!!!

現在虫歯のある生徒202名(25.8%)

歯は病院に行かないと治りません。

●視力1.0未満の生徒 43.2%

水曜日は、全員が17:00には下校します。病院へ行きましょう。



●ヨガ教室では、保護者、職員120名の参加がありました。

呼吸法やカラダをほぐし、リラックスして、癒しの時間をつくることの大切さを感じることができました。



丁寧な鎌田インストラクター

講演:『気持ちの良い人間関係を築くには』

6月20日(木)には、「社会を明るくする運動」

(法務省)の一環として、町保護司会と町福祉課のご協力により、生徒を対象にした講演会を開催しました。

講師の方からも『生徒さんの聞く態度が大変素晴らしい』とお褒めの言葉を頂きました。



講演: 気持ちの良い人間関係

●講師: NPO 法人ハートスペースM

●内容: ★デートDV(親しい中での暴力防止)

★LGBT ★いじめ等の人権について

3年保護者の皆様 朝のあいさつ運動ありがとうございました。



雨の中「あいさつ運動」

6月17日(月)~24日(月)の間、3年生各クラスの保護者の皆様「朝のあいさつ運動」にご協力をいただき、ありがとうございました。

今後さらに、あいさつのレベルアップを図っていききたいと思います。

50年前 新坂土砂災害 追悼集会『命を考える』



生徒会で、新坂 慰霊碑清掃

50年前、1969年(昭和44年)6月30日。当日は豪雨に見舞われ、勝岡小学校手前の新坂で土砂崩れが発生。当時中学校3年生(今年で65歳)4名が、犠牲となる痛ましい災害となりました。三股中では、

毎年『命を考える 追悼集会』を実施しています。



事故後五十年、リニューアル壁新聞

今年は、当時担任をしておられた黒木直行先生(当時26歳:現在日向市在住)から、50年前を振り返る『手づくりの壁新聞』が届きました。

6月25日(火)の追悼集会では、黒木直行先生が、過去お話頂いた内容を、生徒会で朗読しました。

独り言『災害人災は忘れないうちにやってくる』

最近、地震が多いですね。それに伴う津波・家屋倒壊。私が学生の頃『災害は忘れた頃にやってくる』という標語がありましたが、最近『記憶に残っているうちに次の災害が起こる』ようになりました。これから先、梅雨末期は、ゲリラ豪雨・洪水。台風も猛烈に強く、大型化、多発しています。宮崎県では南海トラフ地震、本州方面も近い将来大地震が起こる可能性は極めて高くなっています。昨年の修学旅行前は、旅行コースにある大阪周辺地震(ブロック塀問題が話題)広島周辺豪雨災害がありました。自然の力は人間では止めることはできませんが、避難意識や日頃の備えで被害を少なくすることはできます。一方人災も多発。運転操作ミス等により、子供が犠牲になる事故も多いですね。自動運転支援技術も急速に進歩していますが、まだ、人の操作が主流です。交通事故は大人だけでなく、中学生も自転車等のマナーを守れば、少なくすることができます。皆さん『命を大切に』。